

今さらだけど、 「和食」をイチから考えてみた。

笠原将弘 著

本体 1500 円

四六並製 176 頁

カラーページ入り

注文

(番線印)

(発注者 様)

部数

冊

『今さらだけど、
「和食」をイチから考えてみた。』

笠原将弘 著 清流出版 本体1,500円
ISBN 978-4-86029-546-2

和食とともに半世紀を生きた料理人・笠原将弘。

その人生を重ね合わせて、「これから」を考える。

次世代に日本の食文化をつなぐ活動「和食給食応援団」への思いなど、
50歳の節目に、「日本人にとって和食とは何なのか」を考えるエッセイ。



今さらだけど、
「和食」を
イチから
考えてみた。



表紙カバー

【目次】

- 其の一——毎日食べる和食のこと
- 其の二——挑戦！ 和食給食応援団のこと
- 其の参——和食のこれから、和食の未来
- 其の四——こんな和食、どうだろう？〈レシピ編〉
オリジナルの4レシピも収録
ウクライナの朝定／東京の和食／仲直りのごはん
／地球最後の日のごはん



笠原将弘(かさはら・まさひろ)「賛否両論」店主。1972年 東京生まれ。高校卒業後、「正月屋吉兆」で9年間修業後、家業の焼鳥店を継ぐ。30周年を機にいったん店を閉め、2004年9月、恵比寿に自身の店「賛否両論」を開店。リーズナブルな価格で、味に定評のある和食料理が人気を博している。テレビ、雑誌などメディアにも多数出演。主な著書に『和食屋がこっそり教えるずるいほどに旨い鶏むねおかず』(主婦の友社)、『笠原将弘のごちそう帖 おうちでカンタン！ プロの味』(毎日新聞出版)、『賛否両論 笠原将弘 保存食大事典』他多数。

ぜひご検討くださいますよう、どうぞよろしくお願いたします。 清流出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 TEL 03(3288)5405 FAX 03(3288)5340